

埼玉県小学校環境教育指導資料

生きる力をはくぐむ環境教育の推進

まえがき

「武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの路でも足の向く方へゆけば必ず其処に見るべく、聞くべく、感ずべき獲物がある。武蔵野の美はただその縦横に通ずる数千条の路を当もなく歩くことに由て始めて獲られる。」

これは、国木田独歩の「武蔵野」の一説です。

武蔵野の雑木林、荒川の流に代表される豊かな自然に恵まれた埼玉でも、近年、生活の物質的豊かさや利便性と引き替えに、多くの自然が失われつつあります。

環境問題に対する社会の関心が一層高まる中で、環境への理解を深め、環境を大切にする心を育成するとともに、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力を育成することが、今後ますます重要になっております。

県教育委員会では、環境教育の重要性を考え、平成5年度に「学校における環境教育基本計画」を策定し、学校種別における環境教育の基本的な考え方を示しました。この計画に基づき、平成8年3月に「埼玉県小学校環境教育指導資料」を作成し、各教科等における環境教育の視点と具体的な指導事例を示して、環境教育の充実を図ってまいりました。

その後、埼玉県では「埼玉県環境基本計画」（平成8年3月）や「埼玉県環境学習実践指針」（平成17年3月）を策定し、また、国においては、平成15年10月に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が施行されております。

環境教育をめぐるこうした動きに対応するとともに、平成14年度から全面実施された学習指導要領の内容を踏まえ、環境教育指導資料を新たに作成いたしました。

各学校におきましては、県刊行の「環境教育副読本（小学校）」と併せて活用し、環境教育に積極的に取り組まれますよう期待します。

終わりに、本書の作成に当たって、作成協力委員会の委員の皆様方に御尽力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

平成17年10月

埼玉県教育委員会教育長
稲葉喜徳